

港北区社会福祉協議会

ふくしのまど

【第114号】
共同募金
配分事業

春号

港北区ボランティアセンター通信

港北区ボランティアセンターは、港北区内のボランティア活動に関する相談受付や情報提供を行っています。

ボランティアコーディネーター(相談員)が、「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぎ、その後の活動を応援します。今号は、ボランティア登録をしたお2人の活動の様子をご紹介します。

ボランティア活動紹介

横浜市総合リハビリテーションセンターの難聴幼児課から「難聴の乳幼児の保育ボランティアを探してほしい」と相談がありました。港北区ボランティアセンターでは、登録ボランティアに声をかけ、6名の方に参加していただけることになり、今回は神棒さんと小林さんにお話をうかがいました。



小林さん

●ボランティアを始めたきっかけ

神棒さん：タウンニュースでボランティアの記事を読んで、仕事をしながらでもボランティア活動してみたいと思い、問い合わせをしました。

小林さん：港北区に引っ越してきたばかりでしたが、何かボランティア活動をやってみたいと思いボランティアセンターに相談に行きました。

●活動をして感じたこと

神棒さん：お子さんとのかかわりからそれぞれの子の個性を感じて、いつも癒されています。

最初は小さいお子さんへの保育に不安もありましたが、リハビリテーションセンターの先生や職員さんも一緒なので、安心して活動ができています。おもちゃの使い方など先生からも教えてもらうことが多く、ボランティアに参加すると楽しいことや新しい気づきがたくさんあります。

小林さん：0歳、1歳、2歳のお子さんたちの遊び方はそれぞれ違って、先生や職員さんの遊び方を学びながら活動しています。お子さんの保育をしている間、同じ部屋でお母さんやお父さんたちが育児について懇談をしているのですが、皆さんが懇談に集中できるようにと思いながら活動をしています。



神棒さん

●ボランティアを始めてみようと思っている人たちに向けて…

神棒さん：役に立っているのかな…と思う時もありますが、お子さんたちと一緒に時間を過ごしていることがとても楽しいです。小林さんとも毎回「癒されたね」と話をしています。

小林さん：子育てをしていた時以来の小さなお子さんとのかかわりだったので、苦手意識がありましたが、飛び込んでよかったです。ボランティア活動に参加して、新しい世界や居場所が広がりました。継続して参加しているので、お子さんの名前や個性も回を重ねるごとにわかってきて、お母さんお父さんたちと一緒に成長を見ることができています。



●ボランティアセンターより

ボランティアセンターには子どもから高齢者、障害児・者などにかかわる幅広いボランティア依頼が寄せられています。

「ボランティアをお願いしたい」「ボランティア活動をしたい」など、ボランティアに関するご相談は港北区ボランティアセンターにお問い合わせください。

令和7年度

ボランティア保険について

令和7年度のボランティア活動保険・行事用保険の申請書は配布・受付を開始しています。安心してボランティア活動に取り組むために、ボランティア保険への加入をお勧めします。ボランティア保険についてのお問い合わせは、港北区ボランティアセンターにご連絡ください。

善意銀行お礼

善意銀行へご寄付いただき、ありがとうございます。
(寄託 令和6年10月1日～令和7年1月31日)

港北邦楽協会、港北芸能協会、PCぱれっと、老人福祉センター横浜市菊名寿楽荘、リーダー電子株式会社、大平真希、横浜労働者福祉協議会北部支部、斉藤まみ、伊藤敏紀、金子清隆、グロースサポート社労士事務所、匿名団体、匿名個人(順不同、敬称略)

港北区社会福祉協議会 令和7年度事業計画

3月下旬、本会ホームページに掲載いたします。

右記二次元コードよりアクセスしご覧ください



問合せ
申込み先

社会福祉
法人

横浜市港北区社会福祉協議会／港北区ボランティアセンター

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町13-1 吉田ビル206

☎045(547)2324 月曜から土曜
午前8時45分～午後5時15分

info@kouhoku-shakyo.jp https://www.kouhoku-shakyo.jp

情報
毎月更新



X(旧ツイッター)は
こちらから

ホームページは
こちらから